**子どもたちのサポーター　　　　　　　　　　　　　　　　　2021年1月9日**

 **佐々木 司**

みなさん。こんにちは。佐々木司と言います。子供たちのサポーターについてスピーチをしたいと思います。

**はじめに**:

7年前、私は40年間様々な企業で働いた後に退職しました。引退が究極の目標と言われ、この目標に同意したので、引退期間中にリラックスできる未来に向けて取り組みました。約3年間、私は毎日、日曜日のように扱いました。(そうです。 いわゆる「毎日は日曜日」です)。しかし、この3年後、私は本当に満足しているのだろうかと思い始めました。

そんな中、市の広報誌で、喜んで働き、子どもの教育に興味を持ち、社会に貢献したいと思っている人を探しているという記事を見つけました。この仕事は、学校の教師と協力し追加のニーズを持つ子供たちのためのサポートを提供する仕事です。基本的な生活習慣を確立するための日常生活のタスク。障害児の学習支援などです。

**論点(1)**

私が担当した最初の子供は、授業中に混乱すること、授業を始める準備をしないこと、教師を無視するなど、行動上の問題を抱えていました。私は最初、気配りの行動が改善できると思っていましたが、すぐに思ったほど簡単ではないことがわかりました。たとえ私が行動を止めたとしても、彼はすぐに再び始めました。

 その後、もっと子どもを理解し、良い振る舞いを育て、それを維持できる方が良いと思い始めました。だから、もし子供が何かうまくできたら、私はその場で彼を賞賛するでしょう。これにより、子どもとの関係がスムーズになり、彼の行動は徐々に改善し始めました。

**ボディ(2)**

ある日、廊下で大きな声で泣いた子供がいました。私は彼のもとに行って、なぜ泣くのか尋ねました。彼は「家に帰って母に会いたい」と言いたした。私は彼と一緒に手をつないで教室に行きました。そして、彼はしばらくして泣くのをやめました。彼は孤独を感じていたようで、私は彼が彼と一緒にそばにいる人が欲しいと思ったようです。

**論点(3)**

小学生の子どもたちとのやり取りを通して、会社生活とは違うことを学ぶことができました。

まず第一に、信頼関係を築き、子どもたちとの関係(親密な関係)を作る必要があります。信頼関係を持たないサポートはできません。支援を必要とする子どもたちは、様々な状況で望むようなことはできず、自分に対して否定的な気持ちを感じさせる経験が多い傾向があります。ですから、最初は、障害をできるだけ減らすのに注意する必要があります。

自信を欠いている子供もいるので、安心を与える必要があります。様々な成功経験を持ち、自信を持つことは重要です。成功した経験の過程で、失敗経験を解決する方法について一緒に考えるべきです。

**結論：**

ひとり親世帯を含む複雑な家庭環境を持つ子供たちは、特別な配慮と注意を必要ですし、少しであっても愛が示される必要があります。教え子からお礼を言われると幸せな気持ちになります。将来を担う子どもたちの教育に携わることは大きな喜びであり、社会に貢献していけたことを嬉しく思います。退職だけが目標ではありません。そこから新しいスタートが再び始まります。私は、常に、 私たちの子供たちのサポーターです。

 ありがとうございました。